

第 22 期第 19 回神奈川県内水面漁場管理委員会議事録

日 時 令和 8 年 6 月 16 日（火）午後 1 時 50 分から午後 2 時 25 分

場 所 神奈川県庁 新庁舎 9 階 「議会第 8 会議室」

議 題

1 報告事項

- (1) 令和 8 年のアユの漁況について (資料 1)
- (2) 令和 8 年度全国内水面漁場管理委員会連合会の通常総会の結果について (資料 2)
- (3) 多摩川におけるしじみ採捕の承認に係る実施結果報告について (資料 3)

2 その他

- (1) 令和 8 年 9 月の委員会開催日程について
- (2) その他

出席者

- ・ 委 員 漁業者委員 小島 善光、濁川 謙二、平田 英二、細川 孝
遊漁者委員 伊藤 義明、長塚 徳男
学識経験委員 井貫 晴介、内田 和男、津谷 信一郎
- ・ 事務局 小川事務局長、広瀬事務局長代理、河野主事、石川主事
- ・ 県水産課 加藤 GL、石黒技幹、照井専門研究員、片山副技幹、加藤(大)技師

議 事

小川事務局長

それでは、これより委員会を開催いたします。

委員の皆様の出席状況について御報告いたします。本日は10名中9名の委員の御出席をいただいております。漁業法第145条第1項の規定を満たしておりますので、委員会が成立することを御報告申し上げます。

それでは議長よろしく願いいたします。

議 長
(井貫会長)

それでは、ただいまから第19回の委員会を開会いたします。

本日の議題ですが、報告事項が3件とその他となっております。

議事に入る前に、本日の議事録署名人を指名させていただきます。平田委員、津谷委員、よろしくお願いします。

両委員

(了 承)

議 長

それでは議事に入ります。まず報告事項(1)の「令和8年のアユの漁況について」を議題としますので、事務局から説明をお願いします。

事) 河野主事

【資料1に基づき説明】

議 長

事務局から説明がありましたが、補足の説明がありましたら、河川ごとにお話を伺いたいと思います。まず相模川について、濁川委員、お願いいたします。

濁川委員

相模川では、解禁の日は、大きいものはほぼ放流したアユだと思います。去年や一昨年は小さいアユもたくさん釣れましたが、今年は意外と遡上数が少なく、小さいものは釣れませんでした。平均的な大きさ、中型のアユが釣れていました。

釣果としましては、コログシが一番釣れたのですけれども、一番釣っている人が150尾くらい釣っても、まだ釣れないよという人がいました。同じコログシでも、15匹くらいの釣果でも今日はこれで満足だと言う人もいて、どのくらい釣ったら釣れたうちに入るのか、私も聞いたのですが、釣れない人からはどんどん放流してほしいと言われますが、放流しても、150尾、200尾釣ってもまだ釣れないと言われると困ってしまうと私は感じました。

遡上も0ということではなく、60万尾くらい遡上するのですが、数が少ない分、餌を食べて大きくなって、これから少しでも大型が釣れることを私は期待しております。遡上が少なかったのは、川の水量が今年は非常に少なく、なかなかアユも上って来ることができなかったのではないかと私は感じました。以上です。

議 長

ありがとうございます。

小島委員

それでは次に酒匂川について、小島委員、お願いいたします。

酒匂川の状況ですけれども、相模川と同じように型は大きめで、去年のように小さいものは釣れず、ほとんどが 12cm から 13cm 以上が釣れています。資料にあるように、解禁日にコログシが 40 尾で、友釣りが 20 尾となっていますが、翌日に同じ場所で 40 尾釣っている人がいますので、そこそこ釣れ始めているのではないかと考えています。

遡上が悪かったのですが、5 月 27 日に飯泉取水堰の下に数十万尾溜まっていたので、それを魚道の方に追ったのです。なぜ、溜まったのかというと、土砂吐の工事をやっていて、魚道と反対側のゲートを上げていたために、みんなそちらに上ってしまったのです。そして今度は元に戻したのですが、そこに溜まってしまったということで、それを 6、7 人で魚道の方に追って、半分くらい遡上させました。その後、川の状態を見ると、苔を食んでいるアユが見えなかったのですが、大分遡上したのかなと見ています。解禁後に、3 日に台風と、7 日に雨が降って、その後の状態を見ると、遡上してくるアユが多かったという状況になっています。先週末くらいから大分また釣れ始めています。やはり遡上があったということで釣れているのですが、山北の方は、まだ上っていません。放流したものはいるのですが、まだ天然が上っておらず、釣果が悪いという状況です。酒匂川は以上です。

議長

ありがとうございました。それでは最後に早川について、細川委員、お願いいたします。

細川委員

早川河川ですが、6 月 1 日には、記載のあるようにまあまあ人出があり、2 日もそれくらいでしたが、3 日に雨が降って、水量は多少なりとも増えたのですが、その分硫黄が多く流れてしまったということで、先程酒匂川さんも言っていたようにまた 7 日も雨で硫黄が流れました。硫黄が流れるとどうしても魚が回避行動に出ると言いますか、下ってしまう。放流した場所より上流にはあまりいなくなってしまう、今下流域がよいというのは、その落ちた魚が少しずつ上ってきています。

毛針釣りに関しましては、1 日はそれなりに釣れています。今になってまた遡上があり、海から上ってきているのか、下流域にいたものが上ってきているのかはつきりとはわからないのですが、だいぶ海産のアユが上ってきており、毛針釣りでも釣れるようになりましたけれども、硫黄の影響が出なければよいなとは思っています。

議長

ありがとうございます。それではただいまの説明及び補足説明について、何か御質問等ありましたらお願いいたします。

事) 河野主事
議 長

よろしいですか。それでは特に御質問もないということで、本件の報告事項を了承ということにしたいと思います。

それでは続いて報告事項(2)の「令和8年度全国内水面漁場管理委員会連合会の通常総会の結果について」を議題としますので、事務局から説明をお願いします。

【資料2に基づき説明】

事務局から説明がありましたが、何か御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。それでは、特に御質問もないようですので、報告事項を了承するということにしたいと思います。

続いて、報告事項(3)の「多摩川におけるしじみ採捕の承認に係る実施結果報告について」を議題としますので、事務局から説明をお願いいたします。

事) 河野主事
議 長

【資料3に基づき説明】

はい。ただいまの御説明について、何か御質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいですか。特に御質問もないようですので、報告を了承するということにしたいと思います。

続きまして、5月の委員会で、委員から質問のありました点について、説明があるということですので、事務局から説明をお願いします。

事) 河野主事

5月の委員会で、相模川漁連の増殖実績、増殖計画について御審議いただいた際に御質問のありました件について、御説明いたします。

相模川漁連において、令和7年度にのみ湖産あゆを50,000尾放流していることについて、その理由と、どの湖の湖産あゆなのか、御質問をいただいております。

確認しましたところ、令和7年度については、当時の漁連の方針により、湖産あゆを放流することとなったということですが、8年度については、神奈川県内水面漁連から購入する計画であり、湖産あゆは予定していないということです。また、あゆは琵琶湖産だということでした。御説明は以上です。

議 長

ただいまの説明について、何か御質問、御意見よろしいでしょうか。

特にないようですので、以上で本日の議題は終了となりますが、最後に委員の皆様から何かあれば御発言をお願いいたします。

内田委員

前回の委員会で、放流量の経年変化を教えてくださいということで、生の

議 長

データを私の方に送ってもらいました。色々と古いデータと突き合わせながら解析してみたいと思います。できましたら、皆さんにもお見せしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

例えば山梨県などでは、ダムを作る時に放流量で漁業補償をやったのですね。そのため現物支給で今も続いているので、一定量がずっと入っているのです。最近よい感じの漁場になっているようです。やはり放流が必要な場所とそうでない場所とかなり違いますので、神奈川県で放流がどうなっているのか気になる場所ですので、できるだけ解析できればと思っています。どうもありがとうございました。

他に何かございますか。

ないようでしたら、以上で本日の委員会は閉会といたします。次回は7月14日火曜日、14時から開催予定となっておりますのでよろしくお願いいたします。